

カラー鉄線付きワイヤーロープ

カラー鉄線を巻き付けることでワイヤーロープの視認性が向上します。



本製品の特長

- 1 ワイヤーロープの撚り溝に「ビニール被覆ワイヤーロープ」（以降“カラー鉄線”と表記）を3本巻き付け、ワイヤーロープの視認性を向上させて視線誘導としての機能を付加したものです。
- 2 カラー鉄線は直径Φ5mm（直径Φ3mm、6×7、スチール製のワイヤーロープを塩化ビニールでコーティングしたもの）を使用しています。塩化ビニールコーティングは、酸・アルカリ・海水などによる腐食に強い特徴を有します。
- 3 カラー鉄線の色は、青、黄、緑、赤、茶、透明青、透明黄、透明緑、透明赤、から選択が可能です。



- 4 1本のワイヤーロープに様々な色のカラー鉄線を巻くことも可能です。

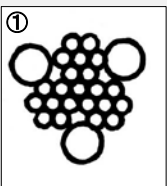


- 5 巻き付け作業には専用の治具である「理研スピンドル®」を使用します。これによりワイヤーロープ4mに対して約3分でカラー鉄線を巻き付けることが可能となります。

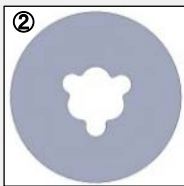
特許第6368449号

「樹脂線付きワイヤーロープ、樹脂線巻付型及び樹脂線付きワイヤーロープの製造方法」

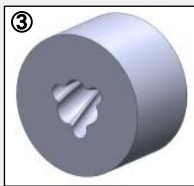
特許技術「理研スピンドル®」により、ロープの溝にカラー鉄線を短時間で巻き付けることが可能です。



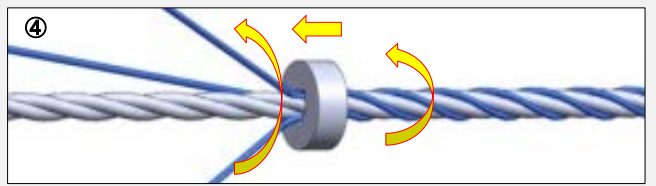
①
ロープに発光体を巻付けた状態の断面図を作成。



②
①を雄形状としたその雌形状の断面図を作成。



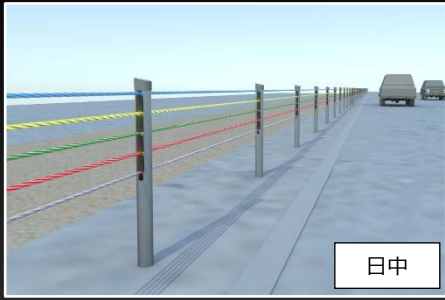
③
②をロープと同じ振れ方向・ピッチで成形した回転移動体を作成。



④
この回転移動体を回転させることにより、発光体を移動しながら巻き付ける。



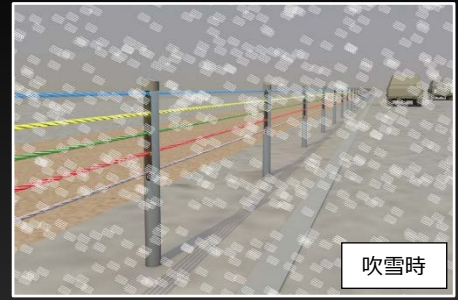
活用例：ガードケーブル、ワイヤーロープの位置認識



日中



濃霧時



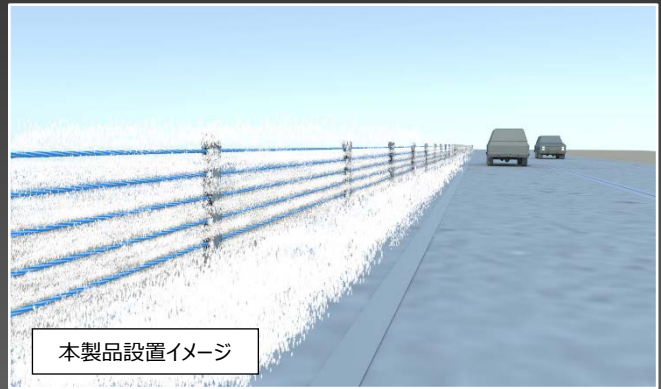
吹雪時

活用例：積雪による埋没時のワイヤーロープ位置認識

東北地方の豪雪地帯では、吹雪時の視線誘導として路肩雪堤にブルーラインと呼ばれる青色の液体を散布していますが、散布後の新たな降積雪により目立たなくなるため、その都度作業を行っており、コスト負担が課題とされています。この対策として、ワイヤーロープに青色のカラー鉄線を巻き付けることにより、これまで同様の効果を得つつ、ランニングコストの低減が可能となります。



現状



本製品設置イメージ

その他の使用用途



工場の導線誘導用として



通行止めゲートの注意喚起として



水門の注意喚起として



国立公園の歩行者誘導柵や登山道の避難対策として



リフトやゴンドラのワイヤーロープの装飾として